

すばる国際運用: SACでの議論

柏川伸成 (NAOJ)

予算削減

文科省

老朽化

装置デコミッション

EAO/Aus./Can.

PFS/IRD

WFIRST

Keck/Gemini

VLT/GTC

非サーベイ観測



国際運用に関する議論 1

- 事態は結構切迫している。
- 慎重にパートナーを選択し、日本のコミュニティにとって最適な運用のあり方をゆっくり検討したいのはやまやま。
- 一方で、すばるの予算はどんどん削られている。
- また、文科省にはすばるが国際運用へ向けて歩き始めている「証拠」を示さなければならない。
- この状況を打破するウルトラCがほしい！



国際運用に関する議論 2

- すばるの時間が足りない。
- HSC/PFSを持ったすばるは今売れっ子で引く手あまた。どこにもいい顔したくて八方美人。
- この好景気がいつまで続くかわからないので10年後から生き延びるための方策も考えたい (WFIRST)
- 他の望遠鏡も使いたい。時間交換拡大(Keck/VLT/GTC)でますます日本人がすばるを使う機会は減っていく。
- サーベイだけでなく非サーベイ型観測もなんとか残したい。
- 今のすばるは6 兎くらい追っていて1 兎もえられないことになるのでは？
- この状況を打破するウルトラCがほしい！



国際運用に関する議論 3

- 誰に何をどのように売るか？
- すばる時間を売ってしまうのがいいのか、売るとすればいくらか？それとも共同運用、共同開発・研究でそれ以上のものを得ることができるのか？長期的に安定した運用を期待できるか。
- SSPレベルの大規模プロジェクト(IRD/PFS-SSP、WFIRST)にどのような形でパートナーが参加すべきか？
- 装置デコミッション：サーベイ型望遠鏡への転換、運用の効率化という面では正しい方向。一方でパートナーは装置数が少なく機能に多様性がないと参加しにくい。
- この状況を打破するウルトラCがほしい！



もう少し国際運用を考えて

■ すばるボード

将来的には意思決定を行う「すばるボード」を作らざるをえない。各パートナーのコミュニティ代表としてのSAC(Science Advisory Committee)は独立してボードに提言する。ハワイ観測所長が国際公募で外国人になることもありうる。

■ 夜数割り付け

出資割合を反映させるかどうか？各国のサイエンス・コミュニティにレベルの違いがある。建設段階からのパートナーではないので、望遠鏡と装置のコストもあるので、年間運用費負担だけを勘案すると安売りにになってしまう。

■ パートナー外提案

国際運用の頃にはパートナー外提案は受け付けない？これまで外国人提案がどれくらい成果を挙げてきたか？

予算削減

文科省

老朽化

装置デコミッション

EAO/Aus./Can.

PFS/IRD

WFIRST

Keck/Gemini

VLT/GTC

非サーベイ観測

